

第2回受賞 平成24年(2012年)

受賞テーマ

「成人T細胞性白血病・リンパ腫に対する抗CCR4抗体療法のトランスレーショナル・リサーチ」

<所属・職位は受賞当時>

- <代表者> 上田 龍三 (名古屋市立大学大学院医学研究科 特任教授)
- 石田 高司 (名古屋市立大学大学院 腫瘍免疫内科 輸血部副部長)
- 稲垣 宏 (名古屋市立大学大学院 臨床病態病理学 教授)
- 宇都宮 與 (公益財団法人慈愛会今村病院分院 院長)
- 松島 綱治 (東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学 教授)
- 義江 修 (近畿大学医学部 細菌学 教授)
- 朝長 万左男 (日本赤十字社 長崎原爆病院 院長)
- 飛内 賢正 (国立がん研究センター中央病院 副院長)
- 山本 一仁 (愛知がんセンター中央病院 臨床試験部 部長)
- 塚崎 邦弘 (長崎大学病院 血液内科 准教授)
- 鶴池 直邦 (国立病院機構九州がんセンター 血液内科部 部長)
- 魚住 公治 (鹿児島大学病院 血液膠原病内科 副部門科長)



第2回受賞研究テーマ『成人T細胞性白血病・リンパ腫に対する抗CCR4抗体療法のトランスレーショナル・リサーチ』に関する研究成果として、難治性の成人T細胞性白血病・リンパ腫(ATL)の患者さんに画期的な新薬をもたらしました。

特に、基礎研究の成果を臨床トランスレーショナルリサーチへ応用し、新規の低フコース型抗CCR4抗体療法開発へつなげて、さらにはATL治療専門家による臨床応用までを一貫して我が国で施行した点が高く評価されます。

抗CCR4抗体は、現在ではATLのみならず皮膚T細胞リンパ腫へも適応が拡大しており、該当する患者さんにとって頼もしい存在となっています。